Environment

マテリアリティ①
自然環境との共生

Chuo Nittochi
中央日本土地建物グループ

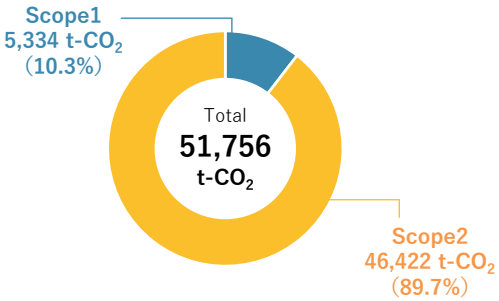
1 GXマネジメント

脱炭素社会の実現に向けた「GX（グリーントランスフォーメーション）」が企業において重要な経営課題とされるなか、当社グループにおいてもサプライチェーン全体でのGXマネジメントに取り組んでいきます。

GHG排出量の算定

GXマネジメントの実行に向け、2021年度のGHG排出量（Scope1、2）の算定を行いました。この結果に基づき、GX戦略の策定を進めていきます。

GHG排出量内訳※



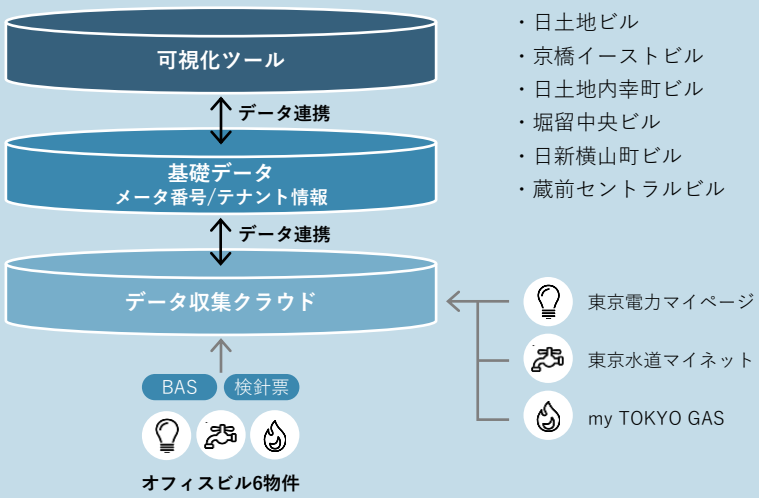
エネルギー統括室の新設

2022年10月、中央日本土地建物-事業統括部内にエネルギー統括室を新設しました。エネルギーに関する基本方針や具体的施策の企画推進、ビルで使用したエネルギーの把握やデータ管理を一元的に行うことで、エネルギー使用の合理化を加速します。

PoC（Proof of Concept：概念実証）の実施

将来のGXマネジメントにおけるデータ活用を見据えて、データ取得の効率化と精緻化を目指し、当社グループで保有する6つの物件においてPoCを実施。自動検針などによるトライアルを進め、エネルギーデータの自動収集・可視化や、業務フロー・作業負担などの検証を行いました。

検証概念図



PoC実施ビル

- 日土地ビル
- 京橋イーストビル
- 日土地内幸町ビル
- 堀留中央ビル
- 日新横山町ビル
- 蔵前セントラルビル

※支配力基準に基づき、対象会社を選定
算定対象：中央日本土地建物グループ、中央日本土地建物、中央日土地ソリューションズ、中央日土地ビルマネジメント、中央日土地アセットマネジメント、中央日土地ファシリティーズ、中央日土地レジデンシャルサービス、レイクウッドコーポレーション、仙台ファーストタワー